

平成26年度 学校経営方針

練馬区立立野小学校 校長 岡本 昌子

本校の教育目標 ○ あたたかい心をもつ（徳）
○ すすんで学ぶ（知）
○ つよい体をつくる（体）

◇ はじめに

学校の初心に立ち返って

「学校の初心」とはなんでしょう。着任以来、何度も繰り返しお話しているように、私にとっての学校の初心は、「**学校は集団で勉強するところ**」ということです。集団で学ぶ場であるからこそ、学ぶ楽しさがあり、学ぶ意欲も大きくなります。一人では我慢できないことも友達と一緒になら我慢してやり続け、最後にはやり遂げ達成感を味わうことができます。

その際、子供たちの意欲を大きく左右するのが、その集団の性質です。所属する集団が、前向きな集団であれば子供たちの学びはどんどん深くなり、自分の居場所に安心感をもてない集団では、驚くほどその学びは浅くなります。学校は、子供の豊かな学びを保障するために、**【子供にとって分かりやすく楽しい授業を行う】**だけでなく、その土台として、**【前向きな集団創り】**に努めなくてはなりません。

加えてもう一つ、学校教育で大切にしたいことがあります。それは、「**学校は失敗できるところ**」ということです。学校は、子供たちが社会生活を疑似体験できる場ですから、間違いや失敗も大歓迎です。大人になってからでもやり直しはできますし、ピンチをチャンスと受け止めて果敢に挑戦していくことは大切です。でも、それは、幼い頃に失敗したらやり直しをし、結果として達成感を味わったという経験があってこそできるものです。

子供たちの成長の過程においては、間違いや失敗は必ずあります。失敗したらやり直しをすればよいのです。それが何度でもできるところが小学校です。人間関係であれ、学習であれ、スポーツであれ、やり直しをすることこそが子供の成長です。そして、やり直しをしようとする子供を温かく見守り、後押しをしたり、やり直しの方向を導いたりするのが、教師の役割です。教師は、常に児童の言動や生活の様子を見守り、確かな児童理解の上で、適切な指導を行わなくてはなりません。

立野小学校の職員には、「**前向きで、温かな集団を創る**」ことを大切に、教育活動を進めていって欲しいと願います。

1 学校経営の基本方針

学校は、何よりも子供のためのものです。子供たちの健やかな成長のために、教育目標達成のために、次の3つの基本方針をもって、全教職員が協力し、組織の一員として動ける学校でありたいと思います。

- (1) 認められ・鍛えられ・活かされる子供
- (2) 学び合い・高め合い、授業で勝負する教師
- (3) 保護者・地域に開く学校

2 校長としての姿勢

学校経営・運営の最終責任者として職責の内容と重みを自覚し、「全ての事柄の責任は自分に帰すること」を肝に銘じて、誠実に全力を投入したいと思います。**子供たちには愛情を、職員には信頼と感謝の念をもち、共に悩みながら歩んでいきたい**と考えています。保護者・地域の方々には、子供たちの成長と幸せを共に願う立場で、学校へのご理解とご協力をいただきながら、「地域の学校」として信頼の得られるように努めます。

- (1) 校長としての立場で、子供たち一人一人の顔が見える(分かる)指導を心がけます。
 - ・校内巡視と授業観察
 - ・朝の欠席調査表の受け取り(入室の仕方や挨拶の指導)
- (2) 開かれた校長室を目指します。
- (3) 全校朝会講話と**避難訓練講話**は、子供たちに直接語りかける場として大切にします。
- (4) 学校の顔として、保護者や地域の信頼に応えられるよう誠実に対応します。
- (5) **今年の私の学校経営のキーワードは、「〇〇先生は、どう思う？」**です。

3 基本方針を具現化するために

- (1) 認められ・鍛えられ・活かされる子供
 - ①人権教育は、全ての教育活動の根幹です。
 - ※呼び捨てをなくし、さんづけで呼ぶ指導
 - ※教師の言葉遣いが、子供たちへの人権教育の手本**
 - ※返事・挨拶指導や入室指導の徹底
 - ②集団生活の基本や、学習規律の確立は学校生活の基盤です。
 - ※交流できる学級・交流の楽しさが十分味わえる学級創り
 - ③「聞く」「話す」「読む」「書く」指導は、全ての学習の基本に置きます。
 - ※「声のものさし」を活用した指導(今年は、学芸会です。)**
 - ④個に応じた指導を心掛けつつ、児童に与える課題に対しては、「最後までやり遂げさせる」「最後まで指導を続ける」姿勢をもち、確かな達成感を味わわせて下さい。
 - ⑤指導と評価の一体化を図り、きめ細やかな指導を心がけましょう。
 - ⑥外遊びを奨励し体力の向上を図りましょう。
 - ※中休みは全員が外遊び
 - ※昼休みに関しても、外遊びの奨励を**
 - ※教師も、時間を作って児童の遊びの見守り(いじめ防止にも効果大)**
 - ⑦児童の発言を常に共感的に受け止め、温かな学級創りに努めましょう。
 - ⑧儀式的行事・朝会・集会・避難訓練等を、学校への所属感を高める大切な場と位置付け、指導内容の充実を図りましょう。
 - ※代表児童へは、十分な事前指導を(出入り、立ち方、礼、話し方等)
 - ※代表児童は、ノーマイク・ノーペーパーを指導
- (2) 学び合い・高め合い、授業で勝負する教師
 - ①年間指導計画に基づいた「週ごとの指導計画」の提出を励行
 - ※C4 t hで作成→プリントアウト後ファイリングして、月曜日の8時15分までに職員室校長机上に提出

※「指導記録」の欄に、学級の様子や自らの授業の課題を記入

※図書のと時間と学級活動の指導内容に関しては、後日提案

- ②研究授業を中心に算数の校内研究を推進し、教師相互の授業力を高め合ひましよう。
- ③授業力向上に向けて、具体的な目標を3つ設定し日々の授業の改善に努めましよう。

(学級・専科経営案に記入)

- 例 4月～7月 児童に興味・関心をもたせる導入教材の工夫
- 8月～12月 1単位時間の流れがはっきり分かる板書
- 1月～3月 児童の思考を深める発問の工夫

- ④年3回以上45分単位の授業観察を実施まします。上記の目標を達成するための具体的な手立てが見える授業を公開(希望する日時を調整)(**第1回の授業観察は体育**)

※授業観察は全て公開。積極的に参観し、自らの授業力を高める。

※初任者研修、2・3・4年次研修該当者は略案を提出

⑤校内におけるOJTの推進

※主任教諭、教科主任による若手指導の推進

- ⑥チャイム着席、チャイム始業で学習時間を確保し、基礎・基本の定着に努めましよう。
- ⑦授業の始めに授業のめあてを示し終わりには一単位時間ごとの学習のまとめを板書ましよう。
- ⑧企業・地域・保護者によるゲストティーチャーの活用をお願いします。
- ⑨学習意欲を向上させるために、児童のノートや作品に賞賛や励ましのコメントを付けましよう。
- ⑩教育会等の各種研究会に積極的に参加し、教師としての資質向上・研鑽に努めましよう。

(3) 保護者・地域に開く学校

- ①保護者からの声には、誠実に対応し、必要に応じて管理職への早めの報告をお願いします。
- ②保護者との連携をより強めるために、学級通信を通じて学級の様子を保護者へ伝える努力をお願いします。

※1か月に1回程度の学級通信の発行

- ③学校評価を実施し、結果を公表まします。
- ④PTAや地域の行事への参加のご協力をお願いします。

(4) その他

- ①服務上の課題には、誠実に対応してください
 - ・交通手段は届出通りの励行
 - ・勤務時間に拘わらず、校内での飲酒は禁止、校地内は禁煙
 - ・**体罰、自動車事故、金銭事故、体罰・セクハラ事故は、職を失うと同時に、子供たちの心を深く傷つけまします。**
 - ・個人情報の適切な管理をお願いします。(私物のUSBの持ち込み禁止)
※各教室・職員室の机上・引き出し管理を励行(情報流出事故を防ぐ基本)
- ②危機管理への対応
 - ・「報告・連絡・相談・記録」の習慣を励行(「知らなかった」が一番いけない)
※初期対応が肝心。内容によっては、休日・夜間を問わず管理職へ連絡
 - ・「首から上の事故」は特別注意。後日、大事に至る場合があります。
 - ・事故・事件(こじれた問題、学級経営上の問題)等、危機的状況が発生した時は、早急に組織的な対応をまします。

4 各組織の今年のキーワード

教務主任より 自戒を込めて

- ・困ったことは抱え込まない。
- ・迷ったら、とにかくやってみる。
(相談する)
- ・見通しをもった計画、柔軟な対応。
- ・日常、普段通りが一番大事。

研究主任より

「謎解き」

初めてのことでドキドキしますね。そのドキドキは、期待でもあり、不安でもありますね。今年度は新たに「算数」の研究です。ダンジョンを進んでいくように、皆さんでたくさん謎を解いていきましょう。

生活指導主任より

「生活指導＝きまり」という印象がありますが、生活指導の基本は、児童理解です。生活指導は、子供の立場や気持ちをきちんと理解した上で、行うことが大切です。

立野小のきまりを覚え、みんなで守ることは子供たちに共通に指導していきましょう。

きまりのこと、子供のこと、気になることは、みんなで話し合いきましょう。

保健主任より

「健康第一」

立野小の児童、教職員全員が元気に学校に来られるように、子供たちと自分の心と体を大切にす1年にしましょう。

5 終わりに

始業式から、10日間が経過しました。まずは、高学年の「高学年らしくありたい」と自ら努力を重ねる様子が立派です。また、それを見習って、元気なあいさつ、中休みの外遊び、チャイム着席などをがんばろうとする低学年・中学年の子供たちの姿も見られます。明るく、やる気に満ちたその表情から、着任以来4年間の先生方の指導の積み重ねを感じ、たいへんありがたく思っています。

学校経営の主体は、校長を中心とした全教職員です。よりよい学校教育の実現のためには、学校で働く全ての人の協力が不可欠です。職種・職域の違いはあっても、教職員一人一人が経営参加意識をもち、能動的に、創造的に、それぞれの職務を遂行して下さることを期待しています。

私自身も、**立野小学校での学校経営を総括する一年**にしたいと思います。